



県立相模三川公園

相模川、中津川、小鮎川の三つの川が合流しているほど近い場所に公園があります。園内には川遊びができる場所があります。大型のコンビネーション遊具も自慢のひとつ。スポーツ広場では野球やソフトボールの試合もできる。(要予約)

☎ 046(236)5008

住 上郷2-1-1 MAP | C-2



海老名運動公園

総合体育館・屋内プール・陸上競技場・野球場・テニスコート等が整備されている総合運動公園。手軽にBBQができる器具の貸出(無料)があるのも便利。また、広場ではかわいいポニーとあそぶこともできる。

☎ 046(235)7204

住 社家4032-1 MAP | E-1



北部公園

体育館・屋内プール・テニスコート・多目的広場などがある総合公園。目久尻川沿いにありカモやシラサギなどの野鳥観察も楽しめる。

☎ 046(292)3300

住 上今泉6-14-1 MAP | B-4



中野公園

公園には、芝生の中を周回する遊歩道やベンチ、総合複合型遊具などがあります。また、市内で初めて人工芝を採用したグラウンドは、その周囲をフェンスで囲み、選手用ベンチも設置され、少年サッカーの公式試合が可能です。スポーツだけでなく散策や休憩もでき、アスリートだけでなく誰もが楽しめる公園です。

☎ 046(244)0085

住 中野1-2314-2 MAP | G-1



国内産の豚ロースを特製味噌にじっくり漬けた逸品。

吟味豚



海老名の特産品であるイチゴとメロン風味のしっとり、ふっくらした上用まんじゅうです。

夢二色・果の香まんじゅう



とっどちゃん 姉妹都市宮城県白石市産の味噌でじっくり漬けたんだ鶏の味噌漬。

七重最中



七重塔の絵柄が入った最中。風味豊かに作り上げています。



上質のバターをたっぷり使用して、丁寧に焼き上げた厚焼きクッキー

海老名ガレット

海老名商工会議所 ☎046-231-5865



海老名のいい名産品

海老名市内に伝わる伝説の一部をご紹介します。

すすめの唐櫃(彦六ダブ)

昔、下今泉の鶴松に住む彦六という若者が、鳩川に落ちたナタを拾いに水の中に飛び込むと、川底で美女に出会いました。立派な御殿に案内され、ごちそうがふるまわれ、彦六は三日三晩過ごし、帰るとき、宝の玉が入った手文箱をもらいました。しかし、帰ってみると、すでに三年の歳月が経っていました。彦六の話を知りながら、家の人は手文箱の中身を知りたくありませんでした。家の人がしつこく頼むので、彦六は箱を開けてしまいました。すると大きな雷が鳴り、彦六も箱も消えてなくなりました。その夜、みんなは天女のような美女に彦六が手を引かれ、雲の彼方へ飛び去っていく夢をみました。

尼の泣き水

天平13(741)年、聖武天皇は、国ごとに国分寺と国分尼寺を建てるよう命じ、相模国では海老名の地に国分寺と国分尼寺が建てられました。その頃、若い漁師と国分尼寺の尼さんが恋に落ちました。ある日、漁師が困った様子で尼さんに、七重塔の屋根の飾りが輝くので、魚が逃げてしまい、取れないと話しました。その夜、漁師のことを思うあまりに尼さんは国分寺に火をつけ、国分寺は焼けてなくなりました。尼さんは捕らえられ、丘の上に生き埋めにされ、刑に処せられました。その後、不思議なことに、その場所から湧き水が流れ出て、村人は尼さんが罪をわびて流している涙と、その湧き水を「尼の泣き水」と呼びました。

門石

門沢橋に長径1メートル位、短径60センチメートル位、亀の甲羅によく似ているとされる門石という石があるそうです。昔、相模国分寺の伽藍を建立するときの礎石をここへ落としてしまい、そのままになっているという言い伝えがあります。この門石は、陸へ揚げると地区内に騒動が起こるといわれていたため、川床にそのままになっていましたが、大正の初期に一度、村人が協力して地区内の渋谷神社境内に運び、神官におはらいをしてもらって祭ったことがありました。ところが、その後小作騒動が起こったことから、やむなく再び元のところに納めました。今は川底に埋まっ

椿地蔵

江戸時代のころ、武家の母娘が杉久保村をとおりにかかった際、娘の容体が悪くなり、介護の甲斐なく娘は帰らぬ人となりました。哀れに思った村人たちは、お地蔵様をまつり供養しました。そのときに供えた椿の一枝が根付き、つぼみをつけるまでに育ちましたが、不思議なことに毎年花が咲かないうちに落ちてしまいます。村人たちは、若くして花咲くことなく亡くなった娘の心が椿に宿ったのだらうといつか信じるようになりました。